

私が印象に残ったことは、受け手の目線に立って読むということです。私の家は神戸新聞をとっていましたが今まであまり書いてあることをボーッと見るばかりで意識をして読んだことはありませんでした。しかし金さんの話の中で受け取る側にも様々な人、様々な受け取り方があり、批判を受けることもあるという話がありました。その中で私は新聞やニュース等で社会情勢を知っていく際は自分の意見を持つことが大切だと感じました。

また、「埋もれた声を拾いあげる」という話で、見た目で分かる表面化された言葉だけでなく少数人救かもしれない言葉でも拾いあげるということが大切なのだという事を知りました。それは私達の人間関係においても言えることだと思うので大切にしていこうと思いました。

貴重な講演をして頂きありがとうございました。

先日忙し中、貴重な時間をありがとう
ごいただきました。
私は、普段家でよく新聞を読みます。祖父
や祖母と新聞の内容から話題を出しそのこと
について話し合っています。特に丹波・丹波
篠山地域の記事内で話をしていきます。毎日で
書かれていゝ人から直接お話を聞いたことはす
ごく嬉しく、50分間、とつとつとつと気分が
あつた。金さんが新聞を書くのには、意識
していゝことを聞いたとき、もっと細かく新
聞見たいよーと思ひました。そして新聞のよ
うに、相手の立場を考へ、1番伝えたいこと
は何かを自分は再確認しなければいゝこと
感じました。また、無知のワユールと云
葉の1番印象に残る、たのび、たのび実践し
たいです。
またお話をさせていただきます。

今回の講演を聞いて、私はメモから記事にする時にどのようなことを意識しているのかという質問をいたしました。その質問に対して金さんは、「記事にする時に、難しい熟語や漢字を使うのではなく、できるだけわかりやすい言葉に書き換えたり、ひらがなを使うようにしています。」とお答えになりました。私は、わかりやすく書くという答えは予想していません。ですが、熟語を簡単な言葉に書き換えたり、できるだけひらがなを使うようにしているという答えは予想外でした。講演の後に、配られたポリントに載っていた記事を見てみるとそういう工夫がされていきました。このことから、幅広い年齢の人に新聞を読んでもらいたいという気持ちがよくわかりました。今回は、ありがとうございました。

20×20

今回神戸新聞記者の金廣順さんの話をきいて、私の家では新聞を取っていないので自分には関係のないことだ。とあきらみ興味があらずしてしまいました。ですが話をきいていて、記者の方もいろいろ仕事を考え、記事を書いていることを今日知って少し新聞に興味を持つことが出来ました。金廣順さんの3つのポイントが私の頭の中に残っています。1つ目は、役者の情報、2つ目は、うまれに声、3つ目は、面白い読み物でおどろかす。2つ目と3つ目に私は驚きました。新聞は、世の中であらゆる出来事を取りあげて、そのイデオロギー、そのどろもれに声と、その一歩に少し驚かすように。また、新聞はかたくなにイデオロギーがあるけれど記者の方が雑多に読みやすいという工夫が、これのことか、と、こので、読んであげようか、と思えました。

金慶順さんの話を聞き、新聞記者の仕事は
自分の書きたいものが書けたり、楽しいこと
が書けて楽しそうだなあと思う反面、自分の
書いた記事が反対されることもあると聞き、
やりがいのある仕事な分、辛いことやしんど
いことも多くあるんだなあと思いました。
私も金慶順さんみたいに自分の仕事に新しく
自信をもつて話せるような仕事にのめりたいと
思いました。金慶順さんが言っておられたよ
うに相手の立場になつて物事を考えることの
大切さも改めて知ることが出来ました。自分
のことだけでなく相手の立場になつて考える
ことでより良いものが作れることを知り、周
りに目を向けることをこれから意識してい
くと考えています。
ありがとうございました。

今回の話を聞いて新聞に対する関心が高ま
りました。僕はこれまで新聞はあんな出来事を
そのまゝ報道するものがないと思っていましたか
新聞記者自身が食った大きな事も掲載されてい
ると知ってSNSに近いものを感心しました。
SNSと決定的に違う点は新聞記者自身が取
材を行い、専門家の見解も踏まえた上で掲載
してあるというところですか。だから僕は新聞
とは興味深い事実やこと、とした疑問点につい
ての答えを高い信頼性を持った知ることで
する大変便利なツールかと思いましたが、僕は
普段ほとんど新聞に目を通すことがないの
で、この機会に一度読んでみるのも良いか
と思います。

今日、新聞を読んだことはあ、でも、
れを書いたおめれる記者の方から直接お話を
聞いたことが無、こので、でも新鮮でした。
特に驚いたのは、正しいことを報道して
るのに、これに對してウレムと言ったし、
その記事のせい、イニタビュ一してくみ
くたな人が、あると、こので、特に色んな
意見のあな記事だと書くの、事、だろ、うな
感じでした。また、漢字ばかりの記事にな
ないように、適度にひらがなにしておられ
るの、も知ったが、こので、おんなこと、ま
だ、考へて
書いたおめれることに、も驚きました。
普段あまり新聞を読んだことが無、こので、今
回知ったことを意識した、が、新聞を読んだ
よう、と思、い、ました。

神戸新聞記者 金慶順さんの話をきいて、特に印象に残ったことは、神戸新聞は兵庫県以外の記事を買っているということです。今までは、直接取材して記事を書いていると思いました。記事を買っているということについて、どうやって記事を買うのかを調べてみたいのです。

また、新型コロナウイルスが新聞記者にどのような影響をもたらすかについても印象に残りました。特に、感染者が新たに出た場合には、本人を傷つけないようにあまり詳しく書かないことです。

今後、新聞を読む機会があれば、このようなことも意識して読んでいきたいと思いました。

私 は、金 工 人 が 言 っ た 「無 知 の 故 に」
が、一 番 印 象 に 残 っ て い ます。何 事 も、一 度 冷
解 に 対 し、相 手 の 立 場 に 対 し、考 え る に と け 難
し い と 思 っ た。生 活 に 関 して、一 番 大 切 な
こ と は、対 象 と 改 め て 見 る こと が 必 ず し も 必 ず だ。
昔 般 何 事 も 対 象 と 対 峙 し、無 知 の 故 に
一 人 一 人 志 士 的 に、こ の 世 界 を 変 革 し、相 手 の 立 場 に
対 し、考 え る 必 ず あり、人 々 に 対 し、た い と 思 っ
ま した。そ の 他 に、こ の 世 界 に 一 つ の 一 つ の 能
力 が、こ の 世 界 を 変 革 し、必 ず あり、た い と 思 っ
開 き、私 自 身 金 工 人 の 一 つ の 一 つ の 能
力 に 開 き、私 自 身 金 工 人 の 一 つ の 一 つ の 能
力 人 々 の 知 識 を 付 け、何 事 も 柔 軟 に 対 峙 し、
さ ら に 進 ぶ 必 ず あり、た い と 思 っ ま した。私 の 家 族 は、
新 聞 を 取 り、こ の 世 界 の 一 つ の 一 つ の 能
力 も 新 聞 紙 報 が 見 出 す こと を 知 っ た。こ の 世 界 人 々
で 見 出 す 必 ず あり、た い と 思 っ ま した。

金慶順さんの話を聞いて、新聞記者さんのイメージが少し変わりました。話を聞く前はもっと堅い仕事のイメージをモッテいたけど新聞記者さんが書きたいと思うことを書けたら、楽しいことも書けることを聞いて楽しそうだなと思いました。でも、自分が書いた記事が喜ばれる時もあるのは反対なこともあるのは大変な所だなと思いました。私は、将来人の役に立てるような人になりたいと思っています。ですので、金慶順さんが言う、それから相手の立場に立って見て物事を判断できるようにこれから生活したいなと思います。将来のために、一つの事に目をつけるのではなく色々なものに目をつけて知識を増やしていきたいです。

貴重な話をしてくれて本当にありがとうございました。

貴重なお話ありがとうございました。なかなか聞く事ができない話を聞けて嬉しかったです。

新聞がどういう過程で作成されているのか
余り知らなくて、初めて知りました。1つの
新聞を作成するのに少人数で作成をしている
と思っていました。色々な人が関わることで
1つの新聞が完成しているのを知りました。
金さんもおしゃっていられたから、人の
話を聞くより、自分で現場に行って取材する
方がわかりやすいし、伝えやすいとおしゃ
り。このコロナ期間中、大変だったことが伝
わって来ました。

最近ではネットで記事を掲載しているの聞き、
私はスマホも触っていることが多いので目に
入った記事は読んでいきたいと思っています。
お忙しい中、ありがとうございました。

金さんの話を聞いて感じたことは、著段じっ
くりと目を通すことのないう新聞にたくさんの
人が関わり、たくさんの努力があるという事
が可。取材をして記事を集め、編集をして、
毎日発行するのほとそは大変だと思ひました。
金さんがおっしゃっていた人の目に付くよ
うに記事と誇張しなうという話を聞いて、新
聞記者として、アラトドカ信念を感じ、生活
に役立つ、理をわける声と届ける、おもレ
る、記事に可るというモットーを大事にして
いると聞いて、記者の大変さを感じました。
金さんの話を聞き、柔軟に物事を見て、広
い視野でたくさんのとのに取り組みたいと思
ったし、人と人とが協力して生きていかな
うと思ひました。

金さんの話を聞いて一番印象に残ったことは、
書こうにも書けないう記事があるところだと
思います。記者さんの立場からしたら、市民の
人たちに知らせたいと思っ、その情報がある、
でも、その記事と載せることで不愉快な気持ち
にさせる方もおられると、たまごまごの人の
立場には、と考へ、たかさんの葛藤をしのび
ながらのたごまごのなと思ひました。金さんの言
わせたように、自分にできる限り、
たまごまごの立場から何かを考へることは、こ
の矢私大人にならにあたり、それをも大切に
こたえたいと思ひました。私の家は丹波新聞しか
と。そのはりのごまご、この話を聞いて読む
ようにしなうと思ひました、ネットニュースな
でも利用していきなうと思ひました。

私は今回金慶順さんのお話を聞いて新聞記者の一日のスケジュールや新聞ができてくるまでにたくさんの人たちがかわらわっていることを知りました。私は新聞を読むときは毎日スポーツや自分の興味のある部分しか読んでいませんでした。しかしこれからはそれ以外の新聞も読んでいこうと思いました。それはたくさん知識や情報を得ることができ、今後の生活に役立つことができるからです。また、いろいろの本も読んで自分の知識を広げていきたいなと思います。

今回はお忙しい中私たちのためにお話ししてくださいありがとうございました。これからはお仕事頑張ってください。また、金慶順さんが作っている地域のニュースも読んでみます。

今回、金慶順さんの公演を聞き、普段読んで
いる神戸新聞の、とや新聞を作る人の仕事
や苦勞を知るこゝとができました。普段生活し
ている上で知るこゝとが、たゝことゝたゝ
く、人を知るこゝとが、たゝ勉強になりました。

話を聞く中、たゝやりがいがある、たゝ仕事としん
どか、たゝ仕事が同じ記事だ、たゝことに驚きま
した。市民の方が知りたいたいこゝとに市役所にと
たら不利なこゝとだ、とこゝとを本当のこゝとを伝
えるために記事を書いた、たゝという事にすゝく感
動しました。

今回の公演で最後に順応性が大切だ、と教え
ていただきました。私もこゝから社会人として今と
は違つたこゝとをしたり、所属する集団が変わ
るけれど、順応性を大切にしたい、たゝと思
いました。

私に神戸新聞記者の金慶順さんの話を知り
て思、大に心配が有ります。それは記者の仕事
に私がおも、いいたおし全然大変な記事に不満
を有、大にから急ぐ言われると聞き、それは
おやり続けるといふのに不満に感じと思いき
した。そのおかげで私達も新聞を讀むのことに
感謝していただきます。私の家ではついこの前まで
下付す、と新聞を取り絶えてたのけど、お白
目を境に新聞を取りやめさせていただきました。新聞にお
金がかかるからその分を色々有ることに使いき
りました。私にや、おし新聞は必要だ有ると思いき
ました。色々有るニュースが知れる新聞を取り。
下付す有ると思いきしました。

今日の講演を聞き、談者としてではなく、
新聞を出す側の意見を聞く事ができとてもよ
か、たです。

特に印象に残ったのは、病院を建設するに
あたり、金さんが書かれた記事の話し、市役
所側の意見や、市民側の意見の両側からの意
見があり、伝える事の難かさと大変さを感
じました。

また、新聞記者として心がけておられるという
お話しは、さまざまの手伝いもされていて、談
者が、楽しくそして日常生活に役立つ情報を
知る事ができるのは、新聞記者の方の強い想
いがあるからなんだと思いました。

お忙しの中とても貴重なお話をありがとうございました。

金さん外今回の講演会でして下さった話を
聞き、最初に考えたのが新聞を読んでもよ
うです。私は今までほとんどと言っ
て1111ほど新聞を読むことなく生き
てきました。読んだことかあるのは
テレビ欄などでした。なのに
新聞は堅く難しいものばかりだと思
いました。けれども金さんは地元につ
いても書いて11ると仰せられました。
そのとき私はすく興味か湧きました。
そこで私は神戸新聞をと、これば読
み、そうでなければ別の新聞を一度
読んでみようと思います。

最後に金さん外「これから生き
ていくために一番必要なものは何
だと思いますか？」の答えとして「柔
軟性」と答えられました。その答
えに私はとても共感しました。この
先は物事を考えるときを決ま
たことばかりではなく他に何か
あるかなど考えます。

僕は金慶順さんのお話しを聞いて、新聞記者の仕事は大変だと感じました。特に象徴に残ったことは二つあります。一つ目は、多くの所から新聞の記事に関して文句を言われるという点です。少しでも地域についてマインスマイネージなことを書くとは非難される記者の方の立場は大変だとつくづく思います。

二つ目に記者の方々が聞き方に非常にこだわっておられた点に新しい発見をさせていたなきました。SWIHを大切にしておられることを知り、人に関心することの重要性や、最後に金慶順さんの言う、おられた人の言おうとしていふことを理解することの意味が分かりました。貴重な時間を使って私たちのために教えてくださりありがとうございました。これからも頑張ってください。